Ⅰ．工　事　概　要

1　工事場所　　伊那市中央

2　建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
障害者授産施設	木造	1	863.82	6（ハ）	

3．工事種目（●印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事内容 障害者授産施設				屋外
● 空気調和設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 冷暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 換気設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 衛生器具設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 給水設備	●一式	○一式	○一式	○一式	●一式
● 排水設備	●一式	○一式	○一式	○一式	●一式
● 給湯設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 消火設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● ガス設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 厨房機器設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 撤去設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4．設備概要（○印を付けたものを適用する）

方法及び種別	設備概要
空調方式	⊙パッケージエアコン・ルームエアコン　・　・
冷暖房方式	・パッケージエアコン・　・　・
暖房方式	・温風暖房　・温水床暖房　・ＦＦ暖房　・
換気方式	⊙局所換気　・　・　・
給水方式	⊙水道直結式　・加圧式　・高置タンク式（・上水　・井水）
排水方式	⊙建物内汚水、雑排水（・分流　⊙合流） ⊙建物外汚水、雑排水（・分流　⊙合流） 浄化槽　（・合併　・単独　） 放流先　⊙公共下水　・
消火設備の種別	・屋内消火栓設備　⊙消火器（建築工事）・スプリンクラー設備・
ガスの種別	・都市ガス（発熱量　KJ/Nm³、供給事業者名：　） ・液化石油ガス（発熱量 100,000 KJ/Nm³）

5．指定部分　⊙無　・有　（指定部分しゅん工期限　平成　年　月　日）
　　対象部分：

Ⅱ．図面目録

No.	図面名称	No.	図面名称
M-01	機械設備工事特記仕様書		
M-02	衛生機器表・凡例		
M-03	衛生器具表		
M-04	衛生設備　配置図		
M-05	衛生設備　平面図		
M-06	厨房機器表・平面配置図		
M-07	空調・換気設備　機器表		
M-08	空調設備　平面図		
M-09	換気設備　平面図		
M-10	換気設備　計算書		
M-11	施工標準図-1		
M-12	施工標準図-2		

Ⅲ．工事仕様

1．共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下、「標準図」という。）による。

(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

参考図書

●長野県建築工事の手引き（以下、「手引き」という。）（平成22年版）長野県建設部施設課監修

2．特記仕様

(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項のうち選択する事項は⊙印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
	① 機材等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3)安定的な供給が可能であること。 4)法令等で定められる場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
● 一般共通事項	② 使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	3 施工条件明示項目	公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
	④ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第３種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第３種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASの Ｆ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ａ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ 接着剤等不使用 ｃ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASの Ｆ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③IEJAISの Ｅo規格品 ④IEJASの Ｆco規格品

⑤ ペーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン フタル酸ジ－ｎ－ブチル、フタル酸ジ－2－エチルヘキシル
⑥ 電気保安技術者	電気保安技術者を設置する。
⑦ 技能士の適用	⊙配管（1．2）　⊙冷凍空気調和機器（1．2）　⊙熱絶縁（1．2）　・建築板金（1．2）
⑧ 監督員事務所	⊙設けない　・設ける
⑨ 工事用電力・用水等	この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
⑩ 足場・さん橋類	⊙別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・本工事で負担する。 ・改修機械設備標準仕様書第１編2.2.1によるほか下記による。 ・ 内部仮設足場等（・　種　・　種）・外部仮設足場等（・　種　・　種）
⑪ 資材の保管	資材の保管は必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。
⑫ 建設発生土	・監督員が指示する構内の場所に敷ならし　・構内指定場所にたい積　⊙構外搬出適切処理
⑬ 埋め戻し土・盛土	⊙根切中の良質土（ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂）　・山砂の類
14 山留養生	根切中の山留め　・有（　）　・無
⑮ 発生材処理	工事に先立ち手引き第２編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの　・無　・有（　） (2)引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。 (3)特別管理産業廃棄物　・無　・有（　） (4)再利用又は再生資源化を図るもの　(ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、木くず、金属くず、塩ビ管、　)
⑯ 文字入名札等	標準仕様書第１編１．７．４によるほか、パルプ類等は必要に応じて金属樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。
17 取扱説明板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板（アクリル樹脂製、文字彫込み程度）を設ける。大きさは、約［　　］㎡とする。
⑱ 総合調整	⊙風量調整　⊙水量調整　⊙室内外空気の温湿度測定　⊙騒音測定 ⊙飲料水の水質の測定（・水質基準検査10項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物ｲｵﾝ、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度)　・トルエン） 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
⑲ 容量等の表示	(1)機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
⑳ 耐震措置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 (1)設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設（・甲類　・乙類）		・一般の施設（乙類）	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０ （２．０） 〈２．０〉	１．５ （２．０） 〈１．５〉	１．５ （２．０） 〈１．５〉	１．０ （１．５） 〈１．０〉
中間階	１．５ （１．５） 〈１．５〉	１．０ （１．５） 〈１．０〉	１．０ （１．５） 〈１．０〉	０．６ （１．０） 〈０．６〉
地下階、一階	１．０ （１．０） 〈１．５〉	０．６ （１．０） 〈１．０〉	０．６ （１．０） 〈１．０〉	０．４ （０．６） 〈０．６〉

（注）１．（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
　　２．〈　〉内の数値は水槽類に適用する。
　　３．上層階の定義は次による。
　　２～６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階

重要機器とは下記に示すものをいう。

・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置

・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器　・

(2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

21 あと施工アンカー確認試験	機械改修工事標準仕様書第２編５章による。 ・性能確認試験（　）・施工後確認試験（　）確認強度［　］kN
㉒ 吊金物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
㉓ 配管勾配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
㉔ 管の保護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね１回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
㉕ 管の埋設	土中埋設管（排水含む）は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは［600］mmとする。又、ガス管の埋設深さは［　］mmとする。
㉖ 管の埋設表示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標ビンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
27 溶接部の非破壊検査	検査対象　・配管　・煙道　・　・ 抜取率　・標準仕様書による　・ 検査の種類　・ＲＴ　・ＰＴ又はＭＴ
28 塗装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出　・（　）の屋内露出 下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫　・ ・

機器	基礎		振動絶縁効率
遠心送風機	・標準基礎	・防振基礎	・％以上　・
空調用ポンプ及びボイラー給水用ポンプ	・標準基礎	・防振基礎	・80％以上　・
揚水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・標準基礎	・防振基礎	・80％以上　・

・別図による。

29 機器の基礎及び振動絶縁効率	
㉚ 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編２．４．１、表４．２．１２による。
31 はつり	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉜ 保温及び消音内貼り	標準共通仕様書第２編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ（グランド部を含む）、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。 ⊙換気ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　⊙外壁より１ｍ迄の部分 ⊙外気取入れダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　⊙全て ・排気ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・還りダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 ・全熱交換器用ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・全て 保温種別は下記による ダクト　・イ（・１号　・２号）　⊙ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管　・イ　・ロ 機器　・イ　・ロ 給水管　⊙ハ　⊙ロ（凍結防止帯巻部分） 排水管　⊙ロ　・ 給湯管　・イ　⊙ロ ・排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。 なお仕様はｏ(ハ)とする。 （・排水トラップ　・鉛管　・銅管類　・ビニール管　・ドレーン管　・　） ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 （・屋内消火管　・水抜きできない管　・スプリンクラー配管　・　） ・圧力タンク、膨張水槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・大便器は保温する。 ・共同溝の保温種別　（・ピット内に準ずる　・　）

⊙ダクトの保温外装は下表による。

区分	保温外装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
機械室	・アルミガラスクロス　・
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板　・
屋外露出、多湿箇所（　）	・ステンレス鋼板　・

⊙配管の保温外装は下表による。（配管には、冷媒管は除く。）

区分	保温外装
倉庫・書庫	⊙アルミガラスクロス　・
機械室	⊙アルミガラスクロス　・
居室・廊下など	・綿布　⊙樹脂製化粧カバー
屋外露出、多湿箇所（　）	⊙ステンレス鋼板　・

⊙冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースの材質は図示による。

区分	保温外装
屋内露出	・綿布　⊙保温化粧ケース
屋外露出	⊙ステンレス鋼板　・保温化粧ケース

㉝ 防凍保温	・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。 ⊙屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は３２に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。（　）
34 試験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2)新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
㉟ 他工事との取合い	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。
36 その他	保険等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。

●空気調和設備　○冷暖房設備　○暖房設備

① 設計温湿度	

	外気		屋内					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	34.3℃	48 %	℃	%	℃	%	℃	%
冬季	-6.1℃	71 %	℃	%	℃	%	℃	%

2 居室騒音限界	下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。

室名	Ａ特性（ｄＢ）	Ｎ　Ｃ　値

3 煤煙濃度計	・設ける　・
4 ばいじん量測定口	・設ける（測定口は80φとする）　・
5 煙道	伸縮継手、掃除口及びばい煙量測定口の位置は図示による。
6 ダクト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法）
7 風量測定口	取付部は図示による。
8 チャンバー	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施工する。
9 防煙ダンパー	復帰方式（・遠隔　・　） 定格入力は、ＤＣ24Ｖ、0.7Ａ以下とする。
10 ピストンダンパー	復帰方式（・遠隔　・　）
11 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　・１０Ｋ（図示部分））
12 温度計	取付部は図示による。
13 圧力計	取付部は図示による。
14 瞬間流量計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
15 油面制御装置	制御盤には（・給油ポンプ制御　・満油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御　・返油ポンプ制御　・減油警報　・　）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

●換気設備

① ダクト	⊙低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　⊙スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法） ・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き（・要　・不要） ⊙厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
2 風量測定口	取付位置は図示による。
3 ダンパー	空気調和設備の該当項目による。
④ 排気ダクトのシール	⊙浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統　・
5 チャンバー	空気調和設備の該当項目による。
6 耐火措置	自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。

○排煙設備

1 ダクト	・亜鉛鉄板　・
2 排煙口の形式	図示による
3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）
4 排煙風量測定	「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」（(財)日本建築設備昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自御動制御

1 中央監視制御装置	・有り　・無し
2 中央監視制御装置の構成・機能	図示による
3 電気計装工事の配線	使用する電線類はＥＭ電線とし、規格は標準仕様書第４編表１．５．１　表４．１．１１の使用電線類の規格による。（機器、盤類は除く） 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。

●衛生器具設備

1 大便器洗浄弁	・バキュームブレーカー　・不凍結装置付　・低圧フラッシュバルブ（　）
② 大便器ロータンク	⊙水抜き装置付
③ 温水洗浄式便座	加熱方式　⊙貯湯式　⊙瞬間式）　給水方式（⊙給水管直結給水方式　・ポンプ加圧給水方式） 温風乾燥機能（・有　・無）　脱臭（・有　・無）
④ 小便器洗浄弁	・不凍結装置付⊙感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式（・埋込　・露出）
5 小便器洗浄管	・露出　・隠ぺい　・水抜き装置付
⑥ 水栓	・節水コマ　⊙固定コマ（⊙寒冷地対応形　・　）
7 化粧棚	・陶器製（・露出形　・　）
8 石けん受	・陶器製（・露出　・埋込）
⑨ 洗面器	⊙止水栓付
10 標記板	・取付箇所（・大便器　・小便器　・　）材質（・陶器製　・　）
11 大便器耐火カバー	・設ける（ピット内は除く）　・設けない

●給水設備

① 量水器	⊙親メーター（⊙貸与品　・　）　・子メーター（・買取り　・　）
② 量水器桝	⊙水道事業者指定品（・貸与品　⊙買取り）　・標準図ＭＣ形
③ 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（⊙ＪＩＳ　・　）　・その他の部分（・５Ｋ　・　）
4 引込納付金等	・要（・本工事　・別途工事）　・不要
⑤ 給水勾配	⊙不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
⑥ 建物導入部配管	⊙標準図　施工４、５（・(a)　・(b)　⊙(c)）による。

●排水設備

① 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
② 排水勾配	屋内　⊙65Ａ以下は1/50、75Ａ以上は1/100以上　屋外　⊙1/100以上　・
③ 満水試験継手	図示の箇所に取付ける。
4 インポート桝、ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。

●給湯設備

① 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（⊙５Ｋ　⊙１０Ｋ（図示部分））

○消火設備

1 屋内消火栓箱	・ＨＢ－１Ａ　・ＨＢ－１Ｂ　・
2 建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・(a)　・(b)　・(c)）による。

●厨房設備

① 機器の寸法	概略寸法とする
2 燃焼機器	使用ガス（・都市ガス　・液化石油ガス）

●ガス設備

① 充てん容器	⊙別途（・50kg　⊙バルク貯槽 980kg）
2 集合装置	・標準図　施工71による　４本組。
3 転倒防止等	・標準図　施工72（・(a)　・(b)）による
④ メーター	⊙親メーター（⊙貸与品　・　）　・子メーター（・買取り　・　）
⑤ ガス漏れ警報器	・本工事（図示による）　⊙別途工事
6 引込負担金	・要（・別途工事　・本工事）　・不要
7 電気防食	・要　・不要
8 建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・(a)　・(b)　・(c)）による。

●その他

① しゅん工時提出物	別添「営繕工事に係る提出書類等一覧表」及び監督員の指示による。
2 定期報告	工事しゅん工後３ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。 （管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）
3 特別管理産業廃棄物管理責任者	特別管理産業廃棄物の処理に当たっては、廃棄物処理法に基づき特別管理産業廃棄物管理責任者を選任する。

（別表-1）品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等

⊙（社）公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等	
・	・
・	⊙その他監督職員の指示によるもの

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
株式会社 城取建築設計事務所
社長　主任　担当
設計者　一級建築士大臣登録 第95032号　宮脇孝夫

凡例　備考

CAD FILE No.M-01特記仕様書

工事名	図面名称	縮尺	年月日	No.
伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	機械設備工事　特記仕様書	No scale	２・７	Ｍ－０１

20-09-11

機器表

記号	名称	機器仕様	電源 相	電源 V	電源 kW	台数	設置場所	備考
GHW-1	ガス給湯機	屋外片側ﾏﾙﾁ設置形 ｴｺｼﾞｮｰｽﾞ	1	100	0.771	1	屋外	GQ-C5042WZx3
		出力:150号						同等品
		燃料消費量:19.68kg/h　LPｶﾞｽ						
		付属品:ﾘﾓｺﾝ、ﾘﾓｺﾝｺｰﾄﾞ、ﾏﾙﾁ架台、ﾏﾙﾁ配管ｾｯﾄ、ﾏﾙﾁﾌﾚｷｾｯﾄ						
		ｼｽﾃﾑｺﾝﾄﾛｰﾗｰ、定流量弁×1						
PQU-1	即出湯ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	屋外壁掛設置	1	100	0.28	1	屋外	PQU-150WS
		循環ﾎﾟﾝﾌﾟ×1台、密閉膨張ﾀﾝｸ内蔵						同等品
		付属品:安全弁						
EHW-1	電気温水器	貯湯式	1	200	1.5	2	ﾐﾆｷｯﾁﾝ	
		容量:12L						
		付属品:標準付属品						
EHW-2	電気温水器	貯湯式	1	100	600W	1	廊下（共用トイレ）	
		容量:3L						
		付属品:標準付属品						
GT-1	ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ	FRP製ﾊﾞｲﾌﾟ式地中埋設型	－	－	－	1	屋外	HGR-V80P
		許容流入容量:80L/min						同等品
		付属品:かさ上げ、鋼板製亜鉛ﾒｯｷ蓋(T-6)						

凡　例

記号	名称	（摘要）	仕様		
——-——	給水管	埋設配管	水道用高密度ポリエチレン管	PWA005	融着接合
		屋内一般（埋設部）	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116(SGP-VD)	管端防食継手
		屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116(SGP-VB)	管端防食継手
——I——	給湯管	屋内一般	一般配管用ステンレス鋼鋼管	JIS G 3448	
————	排水管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741(VP)	屋外樹以降(VU)
……	通気管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741(VP)	
——G——	ガス管	屋内一般	配管用炭素鋼鋼管（白）	JIS G 3452	
		埋設配管	ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774	
——R——	冷媒管		冷媒用銅管（断熱材被覆銅管）	JCDA 0009	
——D——	ドレン管		硬質ポリ塩化ビニル管（ACﾄﾞﾚﾝ）	JIS K 6741(VP)	
	埋設弁				
	仕切弁				
	水栓	水，湯，混合水栓			
	洗浄弁				
	散水栓				
	床上掃除口				
	床排水				
	排水金物				
	間接排水金物				

衛 生 器 具 表

名　称	参考品番	付属品 ＼ 室名	ほっと上伊那事務所	ほっと上伊那湯沸	職員室湯沸	厨房	厨房更衣室	厨房便所	男子ＷＣ１	女子ＷＣ１	車いす対応ＷＣ１	脱衣室	浴室	脱衣（小）	浴室（小）	男子ＷＣ２	女子ＷＣ２	車いす対応ＷＣ２	医務室	廊下（ＳＫ室）	共用トイレ	就労継続作業室２		屋外	合計	備　考
洋風大便器	ＣＳ５９７ＢＳ＋ＳＨ５９６ＢＡＹＲ ＴＣＦ５５３３Ｓ	密結タンク（内部金具同梱） 洗浄暖房便座 棚付二連紙巻器(ﾜﾝﾀｯﾁ・ﾜﾝﾊﾝﾄﾞｶｯﾄ)，付属品一式							１	２						１	４							８	
洋風大便器	ＣＳ５９７ＢＣＳ＋ＳＨ５９６ＢＡＹＲ ＴＣＦ５８４０ＡＵＰＲ	掃除口付、密結タンク（内部金具同梱） 洗浄暖房便座(リモコン便器洗浄付)、便ふた無し、金属製ベースプレート 棚付二連紙巻器(ﾜﾝﾀｯﾁ・ﾜﾝﾊﾝﾄﾞｶｯﾄ)，付属品一式									１							１			２				４	
洋風大便器	ＣＳ５９７ＢＳ＋ＤＨ５９６ＢＡＹＲ ＴＣＦ４８３３ＡＫＲ	密結タンク（内部金具同梱） 洗浄暖房便座(リモコン便器洗浄付)、便ふたオート開閉式 棚付二連紙巻器(ﾜﾝﾀｯﾁ・ﾜﾝﾊﾝﾄﾞｶｯﾄ)，付属品一式						１																	１	
壁掛ストール小便器	ＵＦＳ９００ＪＣＳ	センサー一体型自動洗浄(AC100V)							１							３									４	下地補強は建築工事
壁掛洗面器	Ｌ２１０ＣＭ	自動混合水栓(AC100V)、水石けん入れ、排水金具(Ｐトラップ)							１	１						１	１								４	下地補強は建築工事
壁掛洗面器	Ｌ２５０ＣＭ	自動混合水栓(AC100V)、水石けん入れ、排水金具(Ｐトラップ)				２	１																		３	下地補強は建築工事
壁掛洗面器	Ｌ２７０ＣＭ	自動混合水栓(AC100V)、水石けん入れ、排水金具(Ｐトラップ)										１						１							２	下地補強は建築工事
壁掛洗面器	Ｌ１０３Ａ	自動混合水栓(ｸﾞｰｽﾈｯｸﾀｲﾌﾟAC100V)、排水金具(Ｐトラップ)									１										１				２	下地補強は建築工事
スタッフ用手洗器	ＬＳ８５０ＥＰＡ ＴＥＬ１２１Ａ２ ＹＫＴ３００ＭＮ	自動水栓(サーモスタット・AC100V) 水栓金具，　排水金具，　固定金具一式 ペーパータオルホルダー						１																	１	下地補強は建築工事
コンパクト手洗器	ＬＳＥ８７０ＲＮＡＰＦＲＭＲ	自動水栓（AC100V・電気温水器付）、トラップカバー、水石けん入れ付																	１						１	下地補強は建築工事
汚物流し	ＳＫＬ３３０ＤＮＦＰ	掃除口付床置床排水汚物流し，センサースイッチユニット，レバー式自在水栓										１													１	
掃除用流し	ＳＫ２２Ａ	横水栓，排水金具(Ｓﾄﾗｯﾌﾟ)，付属品一式	１			１				１		１				１	１			１					７	
洗濯機パン	ＰＷＰ６４０Ｎ２Ｗ	６４０×６４０　　樹脂製排水トラップ(横引き)共										１										１			２	
多目的シート	ＥＷＣ５００ＲＲ	取付金具共										１		１											２	下地補強は建築工事
大形バス	ＰＹＷ２１０２Ｌ	２１２０×１６７０×６８０　組み合わせ式ふろふた											１												１	
洗面器置台	ＥＷＢ６５０Ｂ												２												２	
はね上げ手すり	Ｔ１１２ＨＫ７Ｒ	Ｌ＝７００mm,　　樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　　取付金具共									１							１			２				４	下地補強は建築工事
Ｌ型手すり	Ｔ１１２ＣＬ１０	Ｌ＝７００mm,前出寸法120mm　樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　取付金具共																			２				２	下地補強は建築工事
Ｌ型手すり	Ｔ１１２ＣＬ１１	Ｌ＝８００mm,前出寸法230mm　樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　取付金具共									１							１							２	下地補強は建築工事
浴室洗い場用手すり	Ｔ１１２ＣＤ６	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　取付金具共											４												４	下地補強は建築工事
背もたれ	ＥＷＣ３８５ＣＳ	ソフトタイプ																			２				２	下地補強は建築工事
化粧鏡	ＹＭ３０４５ＦＡ	３００×４５０　耐食鏡　取付金具共											２												２	
化粧鏡	ＹＭ４５６０Ｆ	４５０×６００　耐食鏡　取付金具共				２	１	１	１	１		１				１	１		１						１０	
化粧鏡	ＹＭ６０９０Ｆ	６００×９００　耐食鏡　取付金具共									１							１			１				３	
ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合水栓	ＴＫＳ０５３１６Ｊ	壁付シングル混合水栓（吐水切替タイプ），寒冷地用				４																			４	
２ハンドル混合水栓	ＴＭＨ２０-２Ａ２０	壁付２ハンドル混合水栓，寒冷地用											１												１	
ｻｰﾓｽﾀｯﾄ混合水栓	ＴＭＦ４９Ｅ３Ｒ	自閉式サーモスタット混合水栓(吐水口側ｵｰﾄｽﾄｯﾌﾟ)，高温出湯規制											２												２	
洗濯機用水栓	ＴＷ１１ＧＲＦ	緊急止水弁付，寒冷地用										１										１			２	
散水栓	Ｔ２８ＵＮＨ１３																							３	３	
ユニットバス	（ｾｷｽｲＫＧＳ２０２０）	Wells浴槽，移乗台，ｽﾗｲﾄﾞ式手すり，手すり，跳ね上げ式ｶｳﾝﾀｰ，ﾐﾗｰ， ｻｰﾓｽﾀｯﾄ混合水栓，ｴｱｰｲﾝｸﾘｯｸｼｬﾜｰ，壁付定量止水水栓 3枚引き戸(W2000)，他標準付属品一式、ドア位置:4LA												１											１	
ミニキッチン	間口　１２００	扉タイプ、流し台（下台）、上台 ＩＨヒーター（単相200V･2000W） ｺﾞﾐ収納付排水トラップ、ＬＥＤ照明、混合水栓、他付属品一式		１	１																				２	

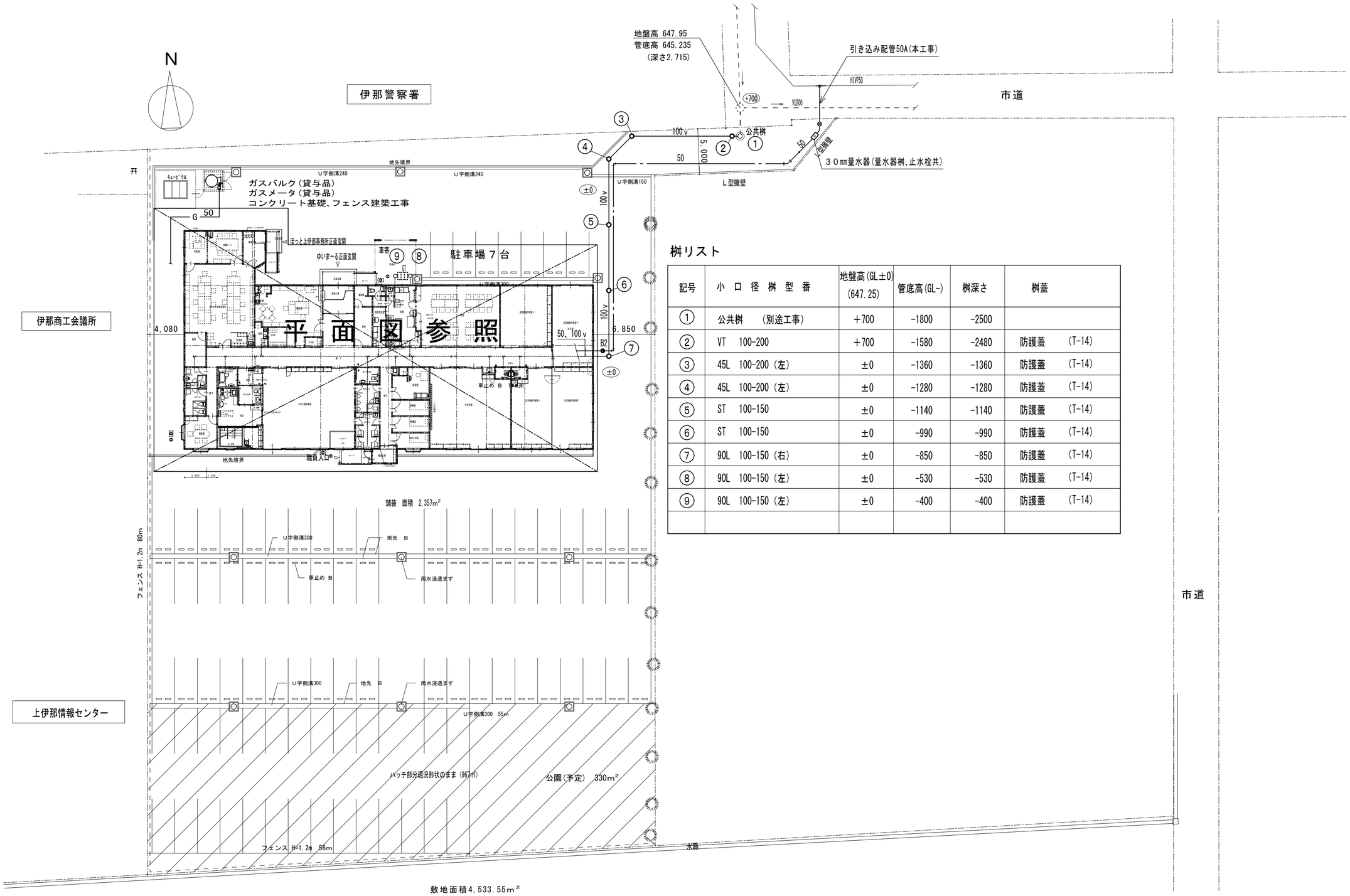
一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
株式会社 城取建築設計事務所
社長　主任　担当
設計者　一級建築士大臣登録 第95032号　宮　脇　孝　夫

凡例　備考

CAD FILE No. M-03衛生器具表

工事名：伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事
図面名称：衛生器具表
縮尺：No　―
年月日：２・７
No.：Ｍ－０３

20-09-11



桝リスト

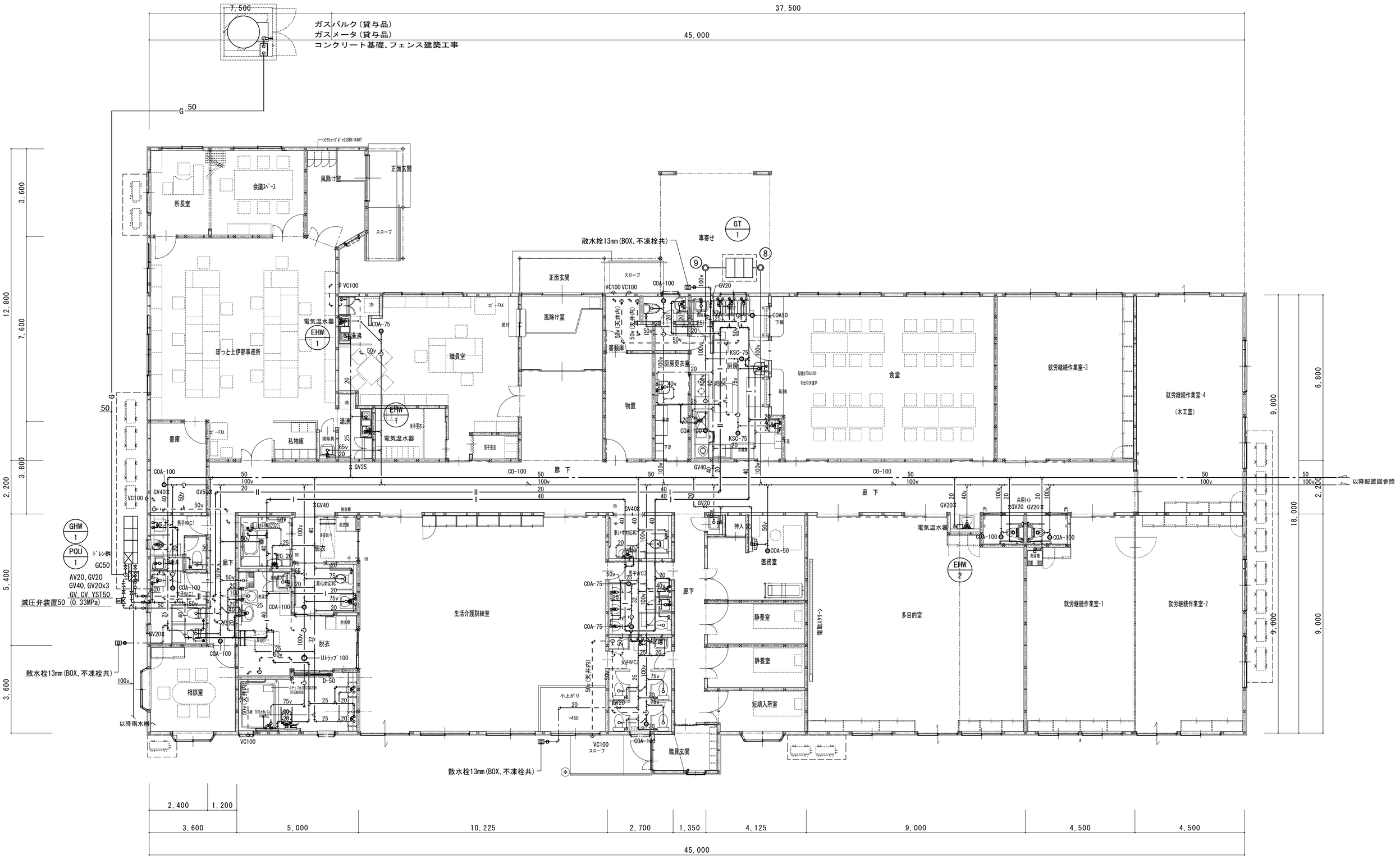
記号	小口径桝型番	地盤高(GL±0)(647.25)	管底高(GL-)	桝深さ	桝蓋
①	公共桝 (別途工事)	＋700	-1800	-2500	
②	VT 100-200	＋700	-1580	-2480	防護蓋 (T-14)
③	45L 100-200 (左)	±0	-1360	-1360	防護蓋 (T-14)
④	45L 100-200 (左)	±0	-1280	-1280	防護蓋 (T-14)
⑤	ST 100-150	±0	-1140	-1140	防護蓋 (T-14)
⑥	ST 100-150	±0	-990	-990	防護蓋 (T-14)
⑦	90L 100-150 (右)	±0	-850	-850	防護蓋 (T-14)
⑧	90L 100-150 (左)	±0	-530	-530	防護蓋 (T-14)
⑨	90L 100-150 (左)	±0	-400	-400	防護蓋 (T-14)

配置図 1：300

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
株式会社 城取建築設計事務所

社長	主任	担当	設計者	凡例 備考	工事名	図面名称	縮尺	年月日	No.
			一級建築士大臣登録 第95032号 宮脇孝夫	CAD FILE No.M-04衛生配置図	伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	衛生設備 配置図	No 1：300	２・７	M－０４

20-09-11



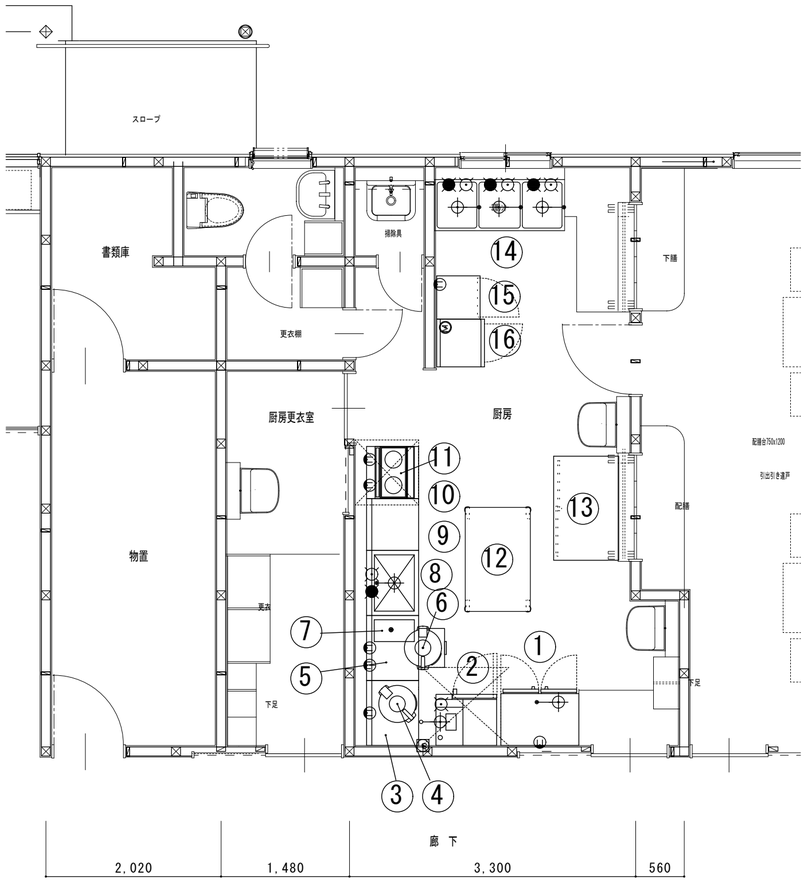
【特記事項】

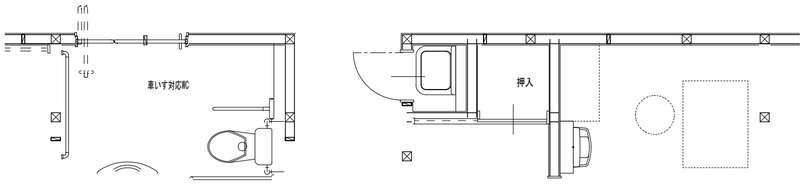
1）特記無き屋内配管はピット内配管を示す。

2）屋外露出の給水、給湯配管には「自己温度調整型」の凍結防止ヒーター巻きを施すこと。

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）U第2Y051号 株式会社 坂阪建築設計事務所	社長	主任	担当	設計者 一級建築士大臣登録 第95032号 宮 脇 孝 夫	凡例 備考	CAD FILE No.M-05衛生設備平面図	工事名	伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	図面名称	衛生設備 平面図	縮尺 No 1：100	年月日 2・7	No. M－05

20-09-11





No.	品　　名	寸　法			数量	型　式	給水	給湯	排水	電　気（60Hz）kW			フード	備　　考
		間口	奥行	高さ						1P100V	1P200V	3P200V		
1	冷凍冷蔵庫	900	650	1910	1	HRF-90AT			40A-1	0.369				有効内容積:冷凍室126L　冷蔵室424L
2	スチーム コンベクションオーブン	700	590	1360	1	CSI3-E3-T	15A-1		40A-1 (高温)			4.3	要	棚段数：3段(2/3GN) 専用架台付
3	作業台	750	600	800	1	TK-76BPA								
4	保温ジャー	502	429	329	1	SK-PJB5400					0.128			能力:1.8～5.4L
5	炊飯器置台	750	600	800	1	TKR-76BP								
6	IH炊飯ジャー	502	429	410	1	SR-PGC54A						4.57		能力:1.8～5.4L
7	電気式卓上フライヤー	252	462	195	1	MMF-82B				1.4			要	油量：8L
8	1槽シンク	750	600	800	1	S1-76BPA	15A-1	15A-1	40A-1					
9	作業台	600	600	800	1	TK-66BPA								
10	作業台	600	600	700	1	TK-66PA								
11	IHクッキングヒーター	600	453	100	1	KZ-CK2020					2.0x2		要	
12	移動台	1200	750	800	1	TK-127MPA								
13	引違戸付作業台	1200	750	800	1	TKD-127PA								
14	3槽シンク(水切ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1640	600	800	1	PS3-166BPA-R	15A-3	15A-3	40A-3					水切り(穴開ｽﾃﾝﾚｽ板)1枚
15	包丁･まな板殺菌庫	500	500	1005	1	KT-52H				0.58				収容能力:包丁10本　まな板4枚
16	電気式食器消毒保管機	550	550	1920	1	ES-254N						2.2		収容篭数:5個　アジャスト脚仕様

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第21Y051号
株式会社 城取建築設計事務所

社長	主任	担当	設計者	凡例　備考	工事名	図面名称	縮　尺	年 月 日	No.
			一級建築士大臣登録 第95032号 宮　脇　孝　夫	CAD FILE No.M-06厨房機器表、平面図	伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	厨房機器表・平面配置図	No 1：50	２・７	Ｍ－０６

20-09-11

機器表

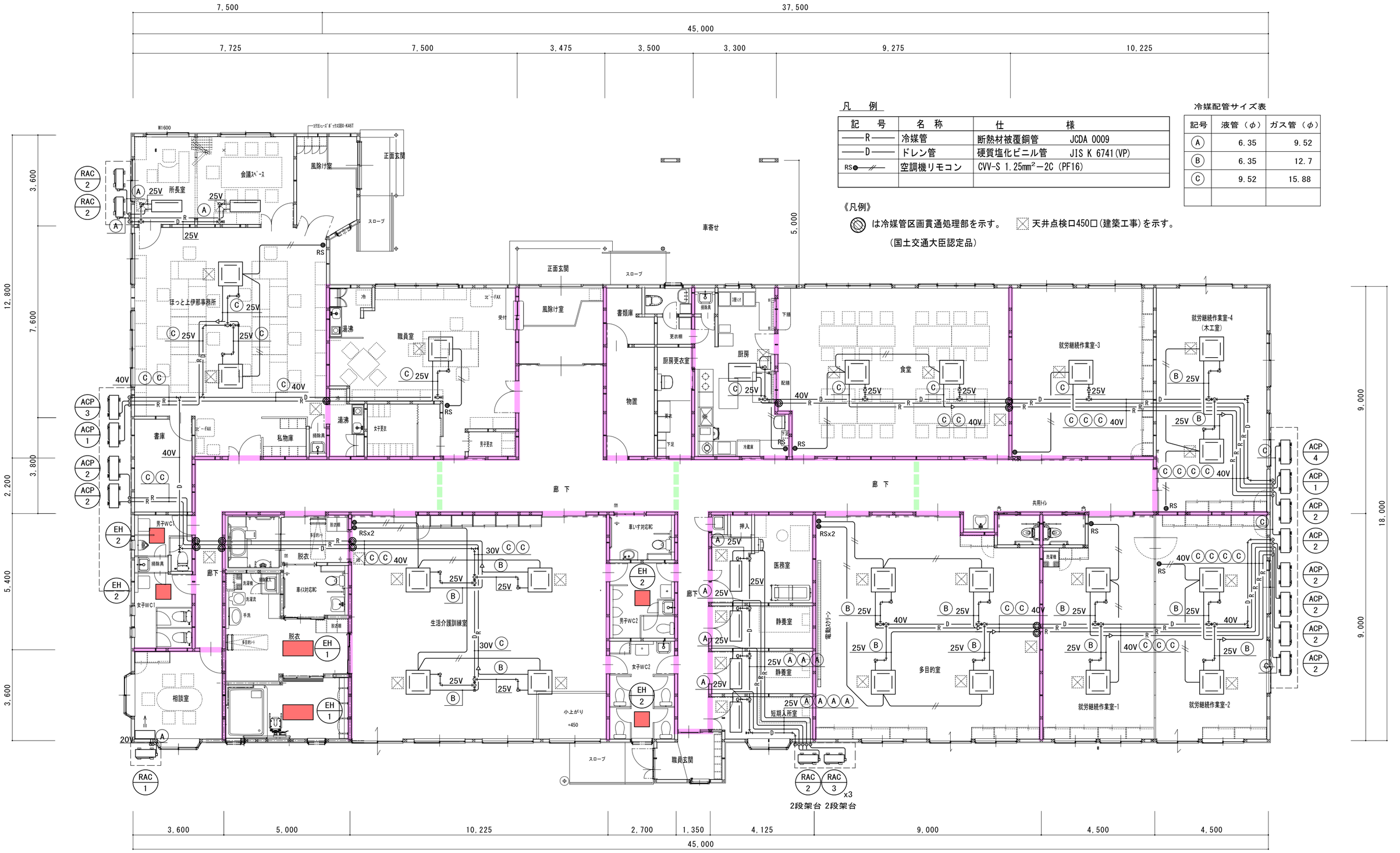
機番	名称	機器仕様	電源 相	電源 V	電源 kW	台数	設置場所	備考
ACP-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	寒冷地向け・天ｶｾ4方向(R32)同時ﾂｲﾝ				2	ほっと上伊那事務所	RCI-GP140RHNP
		冷房能力:12.5KW (3.2～14.0KW) (冷房時)	3	200	3.33		食堂	同等品
		暖房能力:14.0KW (3.5～20.3KW) (暖房時)	3	200	3.20			
		圧縮機出力(kW):2.80 (低温時)	3	200	6.68			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ、分岐管						
ACP-2	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	寒冷地向け・天ｶｾ4方向(R32)同時ﾂｲﾝ				7	多目的室	RCI-GP80RHNP
		冷房能力:7.1KW (2.4～8.0KW) (冷房時)	3	200	1.59		就労継続作業室1、2、4	同等品
		暖房能力:8.0KW (2.0～12.8KW) (暖房時)	3	200	1.60		生活介護訓練室	
		圧縮機出力(kW):1.20 (低温時)	3	200	6.02			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ、分岐管						
ACP-3	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	寒冷地向け・天ｶｾ4方向(R32)				2	職員室	RCI-GP80RHN
		冷房能力:7.1KW (2.4～8.0KW) (冷房時)	3	200	1.62		就労継続作業室3	同等品
		暖房能力:8.0KW (2.0～12.8KW) (暖房時)	3	200	1.66			
		圧縮機出力(kW):1.20 (低温時)	3	200	6.06			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ						
ACP-4	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	寒冷地向け・天ｶｾ2方向(R32)				1	厨房	RCID-GP80RHN
		冷房能力:7.1KW (2.4～8.0KW) (冷房時)	3	200	1.86			同等品
		暖房能力:8.0KW (2.0～12.6KW) (暖房時)	3	200	2.04			
		圧縮機出力(kW):1.20 (低温時)	3	200	7.08			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ						
RAC-1	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	寒冷地向け・壁掛型(R32)				1	相談室	RAS-EK40K2
		冷房能力:4.0KW (0.5～5.5KW) (冷房時)	1	200	1.1			同等品
		暖房能力:5.3KW (0.6～11.6KW) (暖房時)	1	200	1.28			
		圧縮機出力 (kW) :1.1 (低温時)	1	200	3.9			
		付属品:ﾘﾓｺﾝ						
RAC-2	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	寒冷地向け・一方向天井ｶｾｯﾄ型(R32)				3	所長室	RAP-K28J2
		冷房能力:2.8KW (0.5～3.8KW) (冷房時)	1	200	0.63		会議ｽﾍﾟｰｽ	同等品
		暖房能力:4.0KW (0.4～8.4KW) (暖房時)	1	200	0.92		医務室	
		圧縮機出力 (kW) :0.75 (低温時)	1	200	3.84			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ						
RAC-3	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ・一方向天井ｶｾｯﾄ型				3	静養室	RAP-25C2
		冷房能力:2.5KW (0.5～3.6KW) (冷房時)	1	200	0.59			同等品
		暖房能力:3.6KW (0.6～6.6KW) (暖房時)	1	200	0.92			
		圧縮機出力 (kW) :0.65 (低温時)	1	200	2.315			
		付属品:標準ﾊﾟﾈﾙ、ﾘﾓｺﾝ						
EH-1	遠赤外線ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	天井設置形　防湿用				2	脱衣	PLAZURA P12060wfm
		暖房能力:1,400W	1	200	1.4			同等品
		寸法:1274×674×35mm　製品重量:12kg						
		付属品:ﾘﾓｺﾝ						
EH-2	遠赤外線ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	天井設置形　防湿用				4	男子、女子WC1,2	PLAZURA 6060Flens
		暖房能力:700W	1	200	0.7			同等品
		寸法:674×674×35mm　製品重量:6kg						
		付属品:ﾘﾓｺﾝ						
VF-1	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	62W	2	食堂	VD-20ZXP12-X 同等品
		風量:350m3/h×60Pa						
		付属品:強弱ｽｲｯﾁ(電気設備へ支給)						
VF-2	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	46W	3	ほっと上伊那事務所	VD-20ZX12-X 同等品
		風量:300m3/h×60Pa					生活介護訓練室	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-3	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	36W	6	就労継続作業室1、2	VD-18ZXP12-X同等品
		風量:250m3/h×60Pa					就労継続作業室3、4	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式					多目的室	
VF-4	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	28.5W	1	職員室	VD-18ZX12-X 同等品
		風量:200m3/h×60Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						

機器表

機番	名称	機器仕様	電源 相	電源 V	電源 kW	台数	設置場所	備考
VF-5	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	人感ｾﾝｻｰ付	1	100	16.5W	2	男子WC2、女子WC2	VD-20ZAVC5 同等品
		風量:350m3/h×50Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-6	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	人感ｾﾝｻｰ付	1	100	16.5W	1	女子WC1	VD-20ZAVC5 同等品
		風量:250m3/h×50Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-7	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	人感ｾﾝｻｰ付	1	100	10W	3	男子WC1	VD-18ZASVC5 同等品
		風量:200m3/h×50Pa					車いす対応WC	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-8	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	人感ｾﾝｻｰ付	1	100	6.4W	3	共用WC	VD-13ZAVC5 同等品
		風量:100m3/h×40Pa					厨房WC	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-9	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	49W	1	脱衣室	VD-20ZC12 同等品
		風量:250m3/h×40Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
VF-10	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	23W	4	書庫、物置	VD-15ZPC12 同等品
		風量:150m3/h×40Pa					会議ｽﾍﾟｰｽ	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式					相談室	
VF-11	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	15.5W	4	女子更衣室	VD-15ZC12 同等品
		風量:100m3/h×40Pa					厨房更衣室	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式					書類庫、UB	
VF-12	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	低騒音形	1	100	15.5W	6	静養室、男子更衣室	VD-13ZSC12 同等品
		風量:50m3/h×20Pa					短期入所室	ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式					所長室、医務室	
VF-13	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	ｵｰﾙ金属形	1	100	40W	2	ﾐﾆｷｯﾁﾝ	VD-18ZP12 同等品
		風量:250m3/h×50Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:標準付属品一式						
EF-1	排気ﾌｧﾝ	厨房用	3	200	1.24	1	厨房	BFS-300TX1 同等品
		風量:3,350m3/h×200Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:防振吊金物						
EF-2	排気ﾌｧﾝ	有圧扇風圧ｼｬｯﾀｰ付　耐湿形	1	100	40W	1	浴室	EFG-25KDSB 同等品
		風量:450m3/h×30Pa						ｽｲｯﾁは電気工事
		付属品:木枠、ｽﾃﾝﾚｽ製ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ						

【共通事項】

1. エアコンの冷房能力及び暖房能力は「JIS B 8616」による。
2. 冷媒はオゾン破壊係数０のものとすること。
3. 電気容量、消費電力は参考値とする。
4. 室外ユニットの基礎は標準基礎（建築工事）とする。



凡　例

記　号	名　称	仕　　様
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管　　JCDA 0009
——D——	ドレン管	硬質塩化ビニル管　　JIS K 6741(VP)
RS●—//	空調機リモコン	CVV-S 1.25mm²－2C (PF16)

《凡例》

◎ は冷媒管区画貫通処理部を示す。　⊠ 天井点検口450□(建築工事)を示す。

(国土交通大臣認定品)

冷媒配管サイズ表

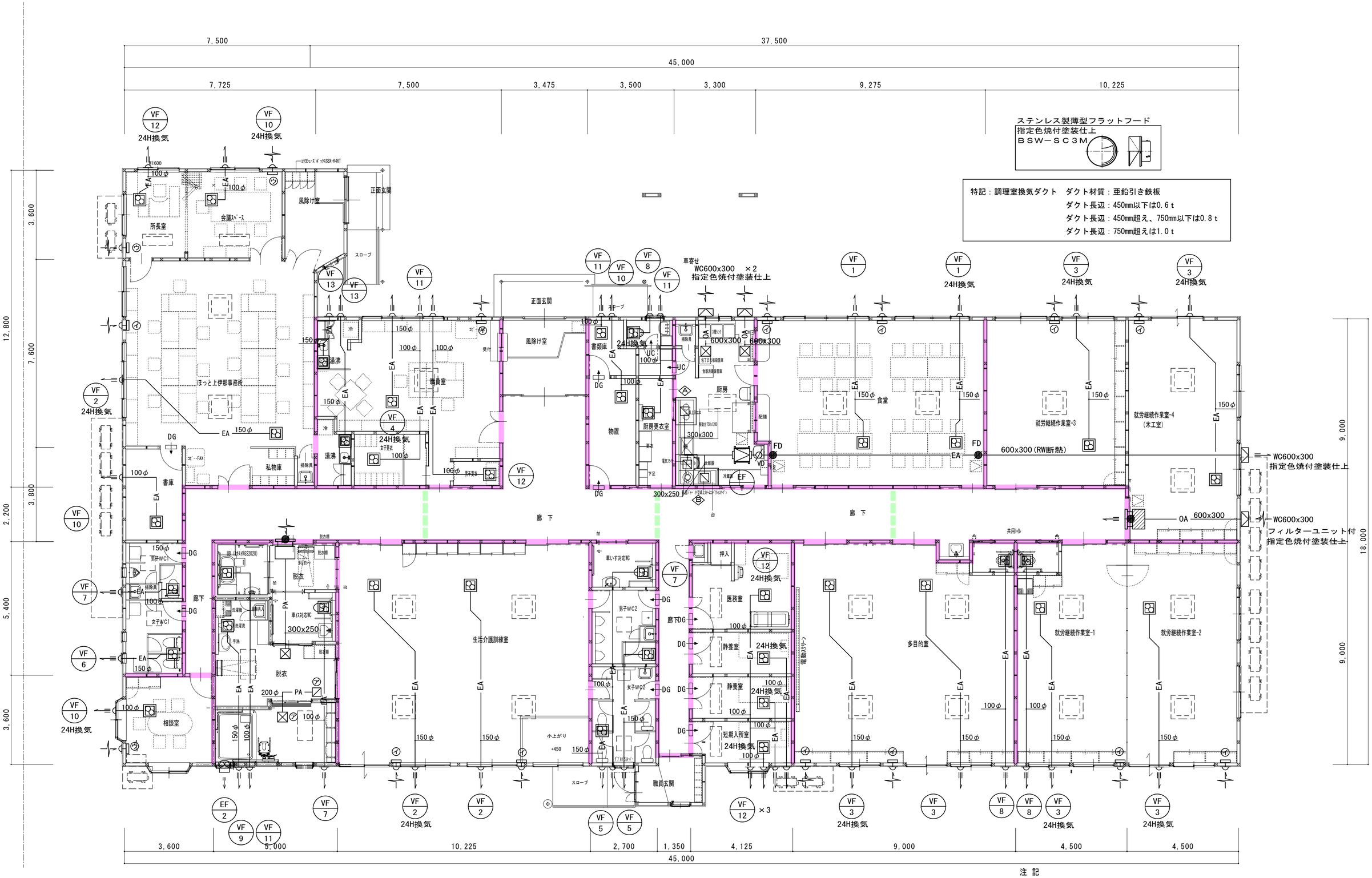
記号	液管（φ）	ガス管（φ）
Ⓐ	6.35	9.52
Ⓑ	6.35	12.7
Ⓒ	9.52	15.88

注記

1．屋外露出部の冷媒管の保温外装は、ステンレス鋼板とする。
2．室内外機渡り配線（VVF 2.0 3芯）は冷媒管共巻きとする。
3．冷媒管の防火区画貫通部は、耐火措置工法(国土交通大臣認定)とする。
4．　　防火上主要な間仕切壁：準耐火構造(45分)
5．　　隔壁(小屋裏)：準耐火構造(45分)

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那)1L第2Y051号 株式会社 城取建築設計事務所	社長	主任	担当	設計者 一級建築士大臣登録 第95032号 宮　脇　孝　夫	凡例　備考 CAD FILE No M-08空調設備平面図	工事名	伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	図面名称	空調設備　平面図	縮　尺 No 1：100 / 年月日 2・7 / No. M－08

20-09-11



給排気グリルリスト（消音形）

記号	型式	数量
㋐	PZ-N25FGP3　250φ用	2
㋑	P-18WQU　150φ用	12
㋒	P-13WQU　100φ用	3

吹出口	脱衣
VHS350×350	1
Q＝　700CMH	
BOX：500×500×400	

吹出口	廊下
HS600×200（FD付）	1
Q＝　700CMH	
BOX：750×350×500	

吹出口	厨房
VHS（F付）500×500	2
Q＝　2,500CMH	
BOX：650×650×500	

吹出口	廊下
VHS600×200（FD付）	1
Q＝　800CMH	
BOX：750×350×500	

注 記

1）換気ダクトは外壁より１ｍまで防露施工を行う。（GW25t）
2）全熱交換型換気ダクトは全て防露施工を行う。（GW25t）
3）⊸ 覆い付丸形フラット形フード（ステンレス製・ギャラリ付）を示す。（サイズはダクトサイズに同じとする）
4）防火上主要な間仕切壁：準耐火構造（45分）
5）隔壁（小屋裏）：準耐火構造（45分）

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
株式会社 城取建築設計事務所

社長	主任	担当	設計者	凡例　備考	工事名	図面名称	縮尺	年月日	No.
			一級建築士大臣登録 第95032号 宮脇孝夫	CAD FILE No. M-09換気設備平面図	伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	換気設備　平面図	No 1：100	2・7	M－09

20-09-11

換気風量計算書

階	居室	室　名	面　積 [㎡]	天井高 [m]	部屋容積 [m3]	換気種別	換気量(1)人員 人員密度 [人/㎡]	[人]	(20m3/h･人) [m3/h]	換気量(2)換気回数 [回/h]	[m3/h]	換気量(3)24時間換気 [回/h]	[m3/h]	計算換気量 [m3/h]	決定換気量 [m3/h]	備　考
1	○	所長室	9.00	3.00	27.00	3	0.05	1	20			0.3	8	20	50	
1	○	会議スペース	14.13	3.00	42.39	3	0.45	7	140			0.3	13	140	150	
1	○	ほっと上伊那事務所	65.94	3.00	197.82	3	0.2	14	280			0.3	59	280	300	
1	○	職員室	35.26	3.00	105.78	3	0.2	8	160			0.3	32	160	200	
1	○	厨房	22.39	3.00	67.17	3	0.05	2	40	40.0	2,690	0.3	20	2,690	2,800	
1		厨房WC	2.27	2.50	5.68	3				12.0	70			70	100	
1	○	食堂	62.06	3.00	186.18	3	0.5	32	640			0.3	56	640	700	
1	○	就労継続作業室-1	38.16	3.00	114.48	3	0.3	12	240			0.3	34	240	250	
1	○	就労継続作業室-2	40.50	3.00	121.50	3	0.3	12	240			0.3	36	240	250	
1	○	就労継続作業室-3	38.93	3.00	116.79	3	0.3	12	240			0.3	35	240	250	
1	○	就労継続作業室-4	40.50	3.00	121.50	3	0.3	12	240			0.3	36	240	250	
1	○	多目的室	77.58	3.00	232.74	3	0.3	24	480			0.3	70	480	500	
1	○	医務室	13.32	2.50	33.30	3	0.1	2	40			0.3	10	40	50	
1	○	静養室	7.43	2.50	18.58	3	0.1	1	20			0.3	6	20	50	
1	○	静養室	7.43	2.50	18.58	3	0.1	1	20			0.3	6	20	50	
1	○	短期入所室	7.22	2.50	18.05	3	0.1	1	20			0.3	5	20	50	
1	○	生活介護訓練室	92.03	3.00	276.09	3	0.3	28	560			0.3	83	560	600	
1	○	相談室	12.96	3.00	38.88	3	0.35	5	100			0.3	12	100	100	

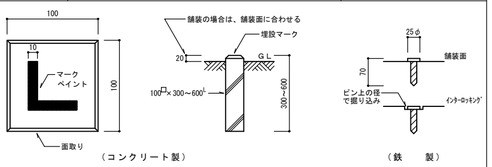
火気使用室換気計算書

厨房フード選定表　フード仕様ＳＵＳ３０４（箱形）厚さ１．０㎜　　必要換気量Ｖ＝３０Ｐ（３０×電気容量）

フード番号	厨房器具名称	種別	電気容量（Ｋ）ＫＷ	必要換気量 ＣＭＨ	フード寸法 Ｌ	Ｗ	Ｈ	フード面積 ㎡	決定換気量 ＣＭＨ	グリスフィルター（低圧損）	ＦＶＤ	数量
Ⓐ	IHクッキングヒーター	電気	２．０ｘ２	１２０	８３０	１，１００	１，２００	０．９１	１，２００	ＬＬ－４０	ＨＧＬ－３０３０	１
Ⓑ	電気式卓上フライヤー スチームコンベクションオーブン	電気 電気	１．４ ４．３	４２ １２９	１，２５０	１，７３０	１，２００	１．７０	２，１５０	ＬＬ－３０ｘ２	ＨＧＬ－３０２５ｘ２	１

特記：調理室換気ダクト　ダクト材質：亜鉛引き鉄板
ダクト長辺：450㎜以下は0.6ｔ
ダクト長辺：450㎜超え、750㎜以下は0.8ｔ
ダクト長辺：750㎜超えは1.0ｔ

機材１０１　地　中　埋　設　標

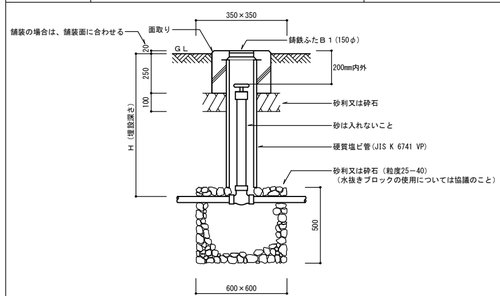


（コンクリート製）　　（鉄　　製）

1. 使用区分は、舗装部分はコンクリート製又は鉄製とし、その他の部分はコンクリート製とする。
2. 頭部は上図の例により、マークを彫り込み、色別表示する。（上図は、曲がり部分の例を示す。）
3. 鉄製の頭部は、用途及び矢印の表示がある物とする。
4. 監督員の承諾を得てプラスチック製の表示杭を使用してもよい。
5. 上記により難い場合は、監督員と協議する。

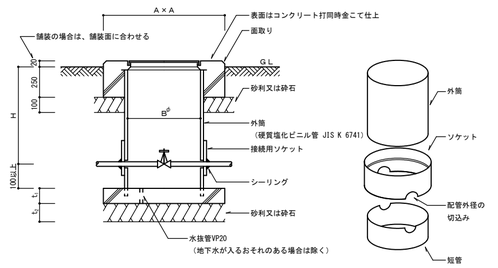
表示ｽﾙ管	表示の色別
◎	飲用水：青
	雑用水：黄
	消火水：赤
	ガ　ス：緑
	油　：赤
	排　水：黒
◎	地中熱：赤

機材１０２　不凍栓ボックス　ＶＣ－６



1．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（6φ）により補強する。
2．アスファルト舗装部分に入る場合は、すり付けとする。

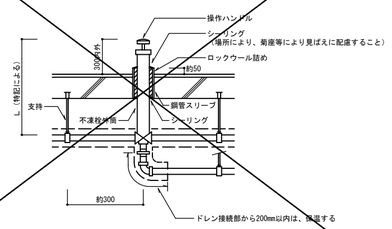
機材１０７　弁　　桝　　ＶＣ－10・11・12



記　号	弁の呼び径	B	A	t_1	t_2	ふ　た	外　筒
ＶＣ－10	40Ａ以下	200φ	350	100	100	Ｂ－１	ＶＰ－200
ＶＣ－11	50Ａ～80Ａ	300φ	500	100	120	MHA-P300	ＶＰ－300
ＶＣ－12	100Ａ～200Ａ	450φ	700	120	120	MHA-P450	ＶＵ－450

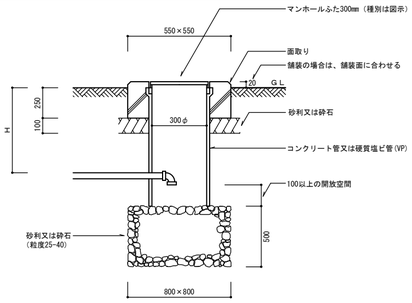
1．管埋設深さ（Ｈ）は図示による。
2．本表のＢ寸法はJIS 5Kの仕切弁を対象とする。
3．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（6φ）により補強する。

機材１０５　床　上　操　作　不　凍　栓　　ＶＣ－９



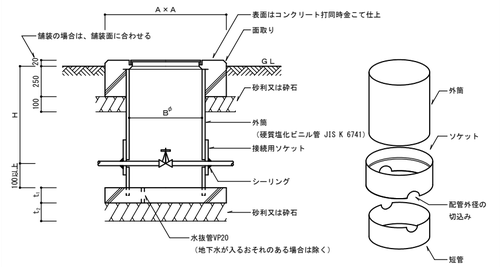
1．不凍栓よりの水抜管をたて管に接続する部分は、排水口空間を設けた間接排水とする。

機材１０６　水　抜　用　浸　透　桝　　ＰＣ－１



1．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（6φ）により補強する。

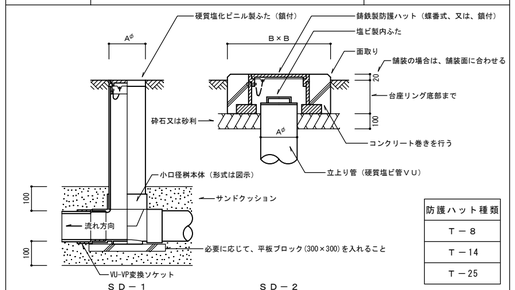
機材１０７　弁　　桝　　ＶＣ－10・11・12



記　号	弁の呼び径	B	A	t_1	t_2	ふ　た	外　筒
ＶＣ－10	40Ａ以下	200φ	350	100	100	Ｂ－１	ＶＰ－200
ＶＣ－11	50Ａ～80Ａ	300φ	500	100	120	MHA-P300	ＶＰ－300
ＶＣ－12	100Ａ～200Ａ	450φ	700	120	120	MHA-P450	ＶＵ－450

1．管埋設深さ（Ｈ）は図示による。
2．本表のＢ寸法はJIS 5Kの仕切弁を対象とする。
3．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（6φ）により補強する。

機材１０８　小　口　径　塩　ビ　桝　　ＳＤ－１・２

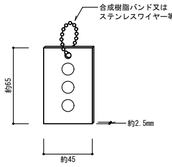


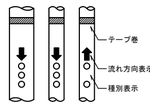
防護ハット種類
Ｔ－８
Ｔ－14
Ｔ－25

記号＼管底		Ｈ≦1200	1200＜Ｈ≦2500	2500＜Ｈ	ふ　た
ＳＤ－１	A	150	200	300	硬質塩化ビニル製ふた
ＳＤ－２	A	150	200	300	塩ビ製内ふた＋防護ハット（耐荷重は図示）
	B	350	400	500	

1．桝の深さがGL-1,500mmを超える合流桝については、要所に国土交通省仕様の桝を設けること。設置箇所は図示による。
2．排水管がＶＰ管の場合は、桝本体との接続にあたり変換用のソケット（ＶＵ－ＶＰ）を用い、管内において段差を生じないようにする。
3．車輌の乗り入れが予想される場合は、鋳鉄製の防護ハットを用い、桝本体に荷重がかからないようにする。（防護ハットの耐荷重は図示によるが、図示なき場合はT-8以上とする。）
4．防護ハット周囲はコンクリート巻きを行う。ただし、アスファルト舗装面では、舗装厚さを除いた高さでコンクリート巻きを行う。
5．コンクリート巻部分には必要により鉄筋（6φ）により補強する。
6．桝及びふたの性能については、原則として、「日本下水道協会」規格又は「ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ･ﾏｽﾏﾝﾎｰﾙ協会」規格による。
7．公共下水道へ放流する場合は、下水道事業者が定める排水基準等による。

施工１０１　文　字　入　れ　・　名　札　等





1．名札（合成樹脂製又はステンレス製）
　(1) 全てのバルブ類について取り付け、通常状態（例：常時開常時閉等）を明示する
　(2) 文字は、彫り込み又は容易に消えない方法で表示する
　(3) 寸法は標準的なものを示し、必要に応じて変更してもよい
2．文字入れ
　(1) 機械室内、ＰＳ内、床下ピット内の配管について、種別及び流れの方向を明示する
　　シールに印刷したものを貼付ける場合は、貼付面の汚れ、油脂分を除去し、はがれない様にすること
　(2) その他、必要に応じ、JIS Z 9102（配管系の識別表示）に準じ、テープ巻等により色別表示を行う

（参考）JIS Z 9102(配管系の識別表示)より抜粋

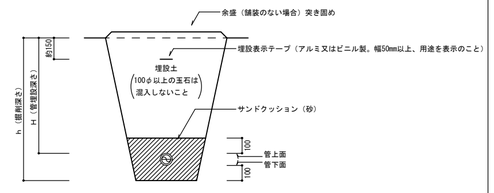
■ 識別表示　管内の物質の種類の識別は、下表に示す７種の色の識別色で表示する

物質の種類	水	蒸気	空気	ガス	酸又はアルカリ	油	電気
識別色	青	暗い赤	白	うすい黄	灰紫	茶色	うすい黄赤

■ 色の指定　識別表示に用いる12種の色の指定は、下表による

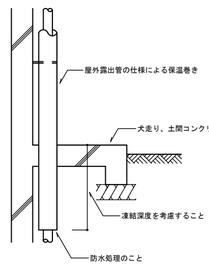
色	赤	暗い赤	うすい黄赤	黄赤	茶色	うすい黄	黄	青	灰紫	赤紫	白	黒
色の参考値	7.5R 4/15	7.5R 3/6	2.5YR 7/6	2.5YR 6/14	7.5YR 5/6	2.5Y 8/6	2.5Y 8/14	2.5PB 5/8	2.5P 5/5	2.5RP 4/12	N9.5	N1

施工１０２　土　中　埋　設　管　の　布　設

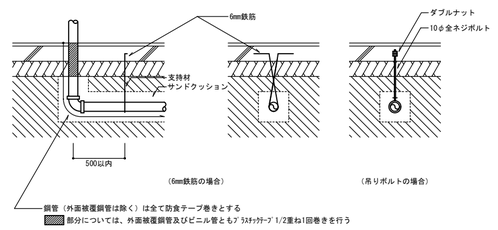


1．給水管と排水管が平行する場合、原則として両配管の水平距離を500mm以上とし、かつ、給水管は排水管の上方に埋設する
2．給水管と排水管が交差する場合も、同様とする。ただし、給水管が凍結深度以下となる場合は除く
3．排水管については、埋設表示テープは不要とする

施工１０３　屋外露出管の保温の処理

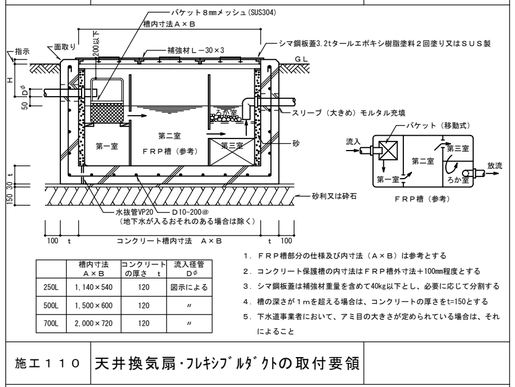


施工１０４　土間配管の防食及び保護



1．吊り間隔は標準仕様書の横走り管の吊り間隔による
2．給湯、冷温水管等保温を行う管及び上記により難い管の場合は、標準仕様書及び特記による

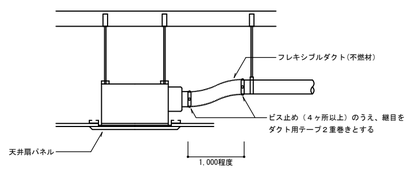
施工１０９　グリーストラップの設置要領



	槽内寸法 Ａ×Ｂ	コンクリートの厚さ　t	流入径管 Dφ
250L	1,140×540	120	図示による
500L	1,500×600	120	〃
700L	2,000×720	120	〃

1．ＦＲＰ槽部分の仕様及び内寸法（Ａ×Ｂ）は参考とする
2．コンクリート保護槽の内寸法はＦＲＰ槽外寸法＋100mm程度とする
3．シマ鋼板蓋は補強材重量を含めて40kg以下とし、必要に応じて分割する
4．槽の深さが１mを超える場合は、コンクリートの厚さをt=150とする
5．下水道事業者において、アミ目の大きさが定められている場合は、それによること

施工１１０　天井換気扇・ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾀﾞｸﾄの取付要領



1．天井換気扇の吊りの本数は、製造名メーカーの標準仕様とする。
2．空調用断熱材付フレキシブルダクトの接続は、ステンレス製バンドで固定したうえ、継目をダクト用テープ巻２重きとする。

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那)1第2Y051号
株式会社 坂阪建築設計事務所
社長　主任　担当
設計者　一級建築士大臣登録 第95032号　宮　脇　孝　夫

凡例　備考

CAD FILE No.M-11施工標準図-1

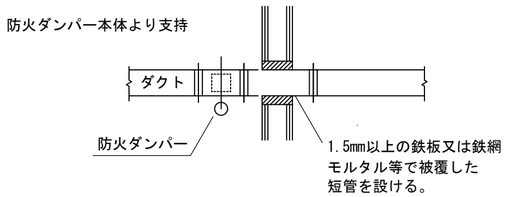
工事名	図面名称	縮尺	年月日	No.
伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	施工標準図-1	—	２・７	Ｍ－１１

20-09-11

施工例

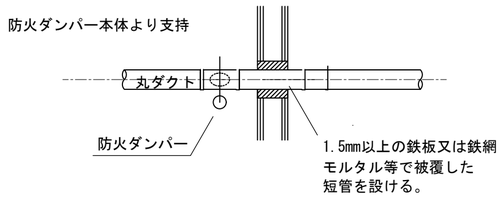
長方形ダクト

形鋼（短管の両側に溶接）



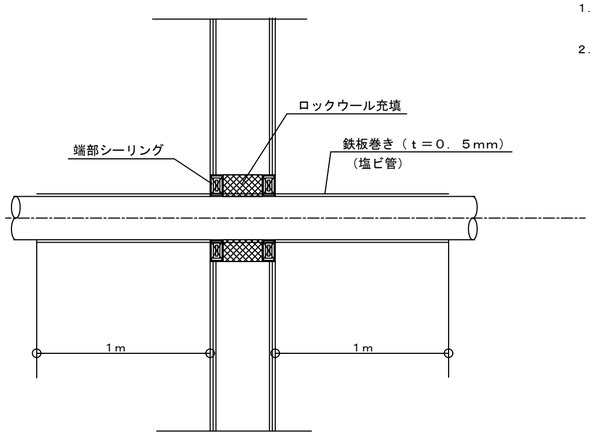
円形ダクト

平鋼（短管に溶接）



1．長方形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　ただし、長辺が300mm以下の場合は2本吊りとする。
2．円形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　ただし、内径が300mm以下の場合は2本吊りとする。

ダクトの防火区画貫通部施工要領

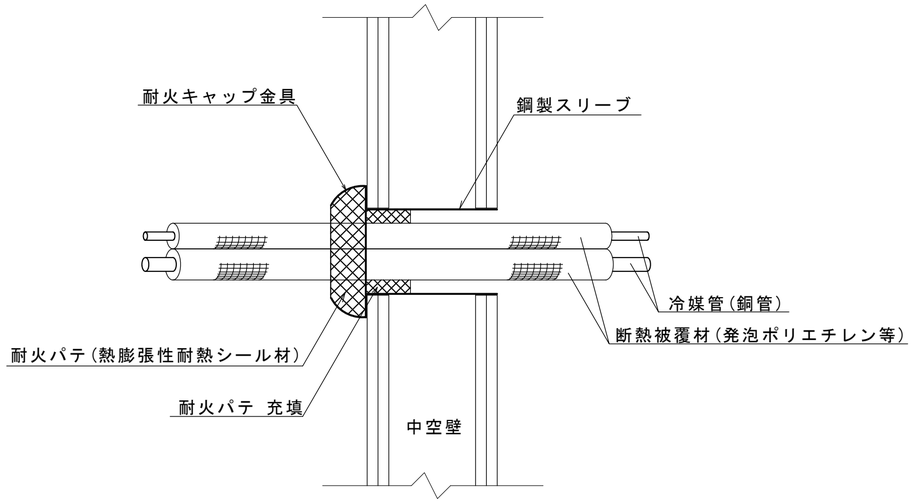


1．防火区画貫通部の処理が必要なもの
　面積区画・竪穴区画・異種用途区画・防火壁・界壁・防火上主要な間仕切壁・隔壁等
2．処理の方法
　（1）排水及び通気用塩化ビニル管（ＶＰ）の場合下記に示す

おおいの有無	貫通する部分の構造区分			
	防火構造	３０分耐火	１時間耐火	２時間耐火
おおいのない場合	１００	１００	７５	５０
鉄板でおおう場合	１２５	１２５	１００	７５

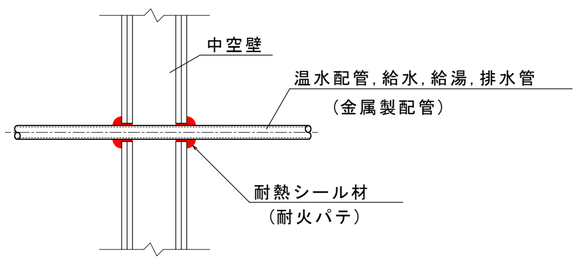
（2）鋼管の場合は、左図鉄板巻きは不要
（3）耐火二層管の施工については、使用メーカーの認定施工条件による
（4）空調用冷媒配管は、（財）日本建築センター防火評定委員会（ＢＣＪ）の評定済工法とする
（4）ＢＣＪの評定済工法による場合は、ＢＣＪ認証の交付を受け、認証の貼付を行うこと

配管の防火区画貫通部措置工法



冷媒配管の防火区画貫通措置工法
（国土交通大臣認定）
PS060WL-0467(中空壁)

冷媒管の防火区画貫通部措置工法（中空壁）



中空壁の防火区画貫通措置工法例
（管材は不燃材料）

建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号ただし書きの規定に基づき、耐火構造の防火区画等を貫通する給水管、配電管その他の管で防火上支障がないと認める基準（平12建告第1422号）

1)　給水管、配電管、その他の管（以下「給水管等」という）は準不燃材料、難燃材料又は硬質塩化ビニルで造られていること。
2)　給水管等の太さは、その用途、おおいの有無及び当該給水管等が貫通する床、壁、柱又は梁等の防火性能若しくは耐火性能に応じて、それぞれ表に掲げる寸法以下であること。

配管の防火区画貫通部措置工法（中空壁）

一級建築士事務所登録：長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
株式会社 城取建築設計事務所
設計者　一級建築士大臣登録 第95032号　宮脇孝夫

社長	主任	担当	凡例　備考	工事名	図面名称	縮尺	年月日	No.
				伊那ゆいま～る・ほっと上伊那新築工事	施工標準図-2	—	2・7	M－12

CAD FILE No.M-12施工標準図-2

20-09-11